

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【公表番号】特表2004-513079(P2004-513079A)

【公表日】平成16年4月30日(2004.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2004-017

【出願番号】特願2002-518242(P2002-518242)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

C 0 7 K 5/093 (2006.01)

C 0 7 K 5/113 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 25/04

C 0 7 K 5/093 Z N A

C 0 7 K 5/113

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月4日(2008.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

鎮痛有効量の式(Ⅰ)：

p G L U - X - Y - Z (Ⅰ)

[式中、XはG L Y、V A L、G L U、A S P、S E R、A L A、A S N、G L N、I L E、L E U、P R O、L Y SおよびA R Gよりなる群から選択されるアミノ酸であり、YはT R PまたはT H Rであり、

そしてZはL-アミノ酸であるか、またはZは存在せず、

そしてZがL-アミノ酸である場合にはYおよびZの両方でなく一方がT R Pであり、そしてZが存在しない場合にはY=T R Pである]

のL-アミノ酸類を含んでなるペプチド、

または鎮痛有効量のアルキル基が該ペプチドのアミノ酸と結合され、該アルキルがC 2-C 3 0よりなる群から選択されるペプチド誘導体、

及び薬剤学的に許容可能な賦形剤

を含んでなる局所投与用の薬剤組成物。

【請求項2】

該アルキル基がアミド結合により結合されている請求項1に記載の薬剤組成物。

【請求項3】

該アルキル基がエステル結合により結合されている請求項1に記載の薬剤組成物。

【請求項4】

XがA S Nである請求項1に記載の薬剤組成物。

【請求項5】

該アルキルがC 4-C 3 0よりなる群から選択される請求項1に記載の薬剤組成物。

【請求項6】

該アルキルがオクチル基(C 8)である請求項 5 に記載の薬剤組成物。

【請求項 7】

該ペプチドがテトラペプチドである請求項 1 に記載の薬剤組成物。

【請求項 8】

該ペプチドがトリペプチドでありそして Z が存在しない請求項 1 に記載の薬剤組成物。

【請求項 9】

式(I) :

$p\text{G}\text{L}\text{U}-\text{X}-\text{Y}-\text{Z}$ (I)

[式中、 X は G L Y 、 V A L 、 G L U 、 A S P 、 S E R 、 A L A 、 A S N 、 G L N 、 I L E 、 L E U 、 P R O 、 L Y S および A R G よりなる群から選択されるアミノ酸であり、 Y は T R P または T H R であり、

そして Z は L - アミノ酸であるか、または Z は存在せず、

そして Z が L - アミノ酸である場合には Y および Z の両方でなく一方が T R P であり、そして Z が存在しない場合には Y = T R P である]

の L - アミノ酸類を含んでなるペプチド、

またはアルキル基がアミノ酸と結合しており、該アルキルの長さが C 5 またはそれより長い該ペプチドの誘導体であって、

ただし Z が L - アミノ酸である場合には、 X = A L A であるなら、 Z は L E U または M E T でなく、 X = L Y S であるなら、 Z は A L A または P R O でなく、そして X = P R O であるなら、 Z は V A L または M E T でなく、

そしてさらにただし Z が存在しない場合には、該ペプチドはそのアミノ酸に結合された該アルキル基を有する

ペプチドまたはペプチドの誘導体。

【請求項 10】

該アルキルが C 5 - C 3 0 よりなる群から選択される請求項 9 に記載のペプチド。

【請求項 11】

該アルキルがオクチル基(C 8)である請求項 1 に記載のアルキルエステル。

【請求項 12】

請求項 9 ~ 1 1 のいずれかに記載のテトラペプチド。

【請求項 13】

請求項 9 ~ 1 1 のいずれかに記載のトリペプチド。

【請求項 14】

鎮痛有効量の請求項 9 に記載のペプチドを含んでなる疼痛の処置または予防のための薬剤組成物。

【請求項 15】

鎮痛有効量の請求項 9 に記載のペプチドのアルキルエステルまたはアミドを含んでなる疼痛の処置または予防のための薬剤組成物。

【請求項 16】

該ペプチドが $p\text{G}\text{l}\text{u}-\text{A}\text{s}\text{n}-\text{T}\text{r}\text{p}-\text{T}\text{h}\text{r}$ 、 $p\text{G}\text{l}\text{u}-\text{A}\text{s}\text{n}-\text{T}\text{h}\text{r}-\text{T}\text{r}\text{p}$ 、または $p\text{G}\text{l}\text{u}-\text{A}\text{s}\text{n}-\text{T}\text{r}\text{p}-\text{L}\text{y}\text{s}-\text{C}\text{8}$ である請求項 1 に記載の薬剤組成物。

【請求項 17】

$p\text{G}\text{l}\text{u}-\text{A}\text{s}\text{n}-\text{T}\text{r}\text{p}-\text{T}\text{h}\text{r}$ 、 $p\text{G}\text{l}\text{u}-\text{A}\text{s}\text{n}-\text{T}\text{h}\text{r}-\text{T}\text{r}\text{p}$ 、または $p\text{G}\text{l}\text{u}-\text{A}\text{s}\text{n}-\text{T}\text{r}\text{p}-\text{L}\text{y}\text{s}-\text{C}\text{8}$ である請求項 9 に記載のペプチド。